

別記様式

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和4年度第2回米原市まち・ひと・しごと創生に関する有識者会議
開 催 日 時	令和5年3月20日（木） 14時 00分～ 16時 00分
開 催 場 所	古民家（米原市春照地先）
出席者	<p><b>【出席者】</b> 金井毅委員、萩原和委員、川瀬篤志委員、川村千恵委員、富岡尚子委員、中辻克明委員、古川友亮委員、古澤宏之委員、馬淵英樹委員、西脇栄子委員、山崎剛司委員</p> <p><b>【米原市】</b> 情報政策課 川西課長、渡邊主査、林口CIO補佐官 シティセールス課 鹿取主査</p> <p><b>【事務局】</b> 政策推進部 川瀬部長、政策推進課 松村課長、池田課長補佐</p>
議 題	<p>（1）令和5年度当初予算（案）主要事業（まち・ひと・しごと米原創生総合戦略の取組および地方創生推進交付金活用事業を含む）について・令和5年度滋賀県北部地域の振興の取組について</p> <p>（2）デジタル田園都市国家構想総合戦略について</p> <p>（3）令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）申請事業および「米原市DX推進方針」について</p> <p>（4）空家活用事例「古民家のリノベーションによる貸家として再生事業」について</p>
結 論	<p>委員からの主な意見・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fi等情報系のインフラの整備を自治体が行うのがよい。</li> </ul> <p><b>【DX】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に対するリテラシーの高い中学生を対象にした情報教育に予算をつけてはどうか。</li> <li>・情報に関するリテラシーを教える専門職を雇い、情報に関する理解と知識を高めることをするのはどうか。</li> <li>・行政からの連絡もLINEの活用を検討してはどうか。</li> </ul> <p><b>【農業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業塾等の事業については、契約農家になるぐらいのレベルで取り組まないと産業として成り立たない。</li> </ul>

	<p><b>【脱炭素】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民みんながマイボトルを持つPRをすると、水がきれいというPRにも繋がる。</li> </ul> <p><b>【教育・子育て】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その学校でしか受けられない特色ある教育の確立を行ってはどうか。</li> <li>・子育て、教育、移住を組み合わせで考え、移住促進を行うのがよい。</li> </ul> <p><b>【空家】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空屋活用事例を外の地域から評価してもらえ情報発信（PR）が大切である。</li> <li>・空家バンクへの登録を促すため、実際に現場へ赴くことが大事である。</li> <li>・移住者に提供できる住居が少ないので、住居の提供についての対策を行うのがよい。</li> <li>・空家バンク登録促進のため、商工会などと横連携した対策を行う必要がある。</li> </ul>
審 議 経 過	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p><b>【（１）（２）（３）について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fiのスピードが米原市は弱いので、強くしてほしい。インターネット環境のハード面での整備をお願いしたい。インフラの整備から自治体がすべきである。</li> <li>・証明書の交付システムについて、そのようなシステムがあることはよいが、交付ができるコンビニが米原市は多くないので、より使いやすいシステムが必要だと思う。</li> </ul> <p><b>【DXについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進性より利便性を求めたDXの活用をするべきではないか。</li> <li>・DX推進ということでいろいろ取り組むことはいいが、DXの基本的な部分をしっかりとしなければいけない。</li> <li>・中学生はスマホも使いこなし、リテラシーが高いので、そこに対してDXの予算をつけるのはどうか。また、しかるべきリテラシーを教える専門職を雇い、リテラシーを教えるべきである。教え</li> </ul>

る側（先生）も教わる側（生徒・児童）も両方が端末を使いこな  
し、情報に理解のあるようにするのがよい。

- ・デジタルを活用できる場所と活用できないところがあるが、改  
善できる場所は改善してほしい。

#### 【農業について】

- ・農業塾等の事業については、農作物を卸してくれる業者が減った  
ことがこの事業を始めるきっかけとなったはずなので、契約農家  
になるぐらいのレベルで取り組まないと産業として成り立つまで  
はいかない。今のままでは家庭菜園のレベルで終わってしまう。
- ・農業に限る話ではないが、行政からの連絡等もLINEを活用するべ  
きでは。

#### 【脱炭素について】

- ・脱炭素について、熊本の例のように市民みんながマイボトルを持  
っていることをPRすると、水がきれいというPRにも繋がる。

#### 【教育、子育てについて】

- ・現状、生徒数が減っている中学校もあるので、その学校でしか受  
けられないような授業など、特色のある教育を受けられるとよ  
い。  
中学校を越境する理由で多いのが部活動である。部活動だけを越  
境できるシステムなどを拡充することが良いのではないか。
- ・子育て、教育、移住を組み合わせる必要がある。移住する  
人は子育て、教育の環境を一番に重視して移住を決める。
- ・中学生応援事業などは前の会議でも良い事業だと言ったが、その  
ような事業や補助を周知してもらえよう発信した方がよい。
- ・スポーツ教室や運動教室に補助をしてほしい。安全に遊べる場所  
を作ってほしい。
- ・スポーツを教える環境については、スマホ等情報端末の活用をす  
るべき。

#### 【（４）空家活用事例「古民家のリノベーションによる貸家として 再生事業」について】

- ・今回会場となっている古民家（改修後は貸家等として活用予定）は企業のイベントや合宿等に使い、それが企業誘致のきっかけにもなる。移動手段（キックボード、自転車等）があるとより便利に利用できる。
- ・古民家の改修を一般の人が行うと費用がかかるので、古民家のサブスクリプションにするのもいいかもしれない。
- ・地元の住民は、外の地域で地元のことが評価されることに非常に誇らしさを感じる。評価してもらえるようにどのように発信（PR）するかが大切である。
- ・冬場は、雪を見たいと米原を訪れる人もおり、雪がアピールポイントとなっているが、一方で積雪は課題でもあるので、移動の補助をするといい。

#### 【人口減少と空家対策について】

- ・移住をしたいと思っても、米原市は住むところがない。住むところの提供を考えないといけない。
- ・空家バンクの登録が進んでいないのは課題である。

#### 【空家バンクの現状について】

- ・米原市内には空家が約1100件あるが、実際に空家バンクに登録されているのは100件ほどである。その原因としては、空家バンクに登録したくない人が多く、登録することにハードルの高さを感じる人もいることが原因である。
- ・地元に出向いて登録を促さないとOKしてくれないことが多い。実際に現場へ行くことが大事である。
- ・商工会とタッグを組むなど、行政のみでなく他の団体等と連携した取り組みが必要である。

### 3 その他

任期満了についての事務連絡

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開      傍聴者： <u>0人</u>  <input type="checkbox"/>一部公開  <input type="checkbox"/>非公開</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示  <input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等：  <input type="checkbox"/>非開示</p>
<p>全部記録の有無</p>	<p>会議の全部記録    <input checked="" type="checkbox"/>有    <input type="checkbox"/>無  録音テープ記録    <input checked="" type="checkbox"/>有    <input type="checkbox"/>無</p>
<p>担当課</p>	<p>政策推進部 政策推進課</p>